

## 第 35 回 放送番組審議会 議事録

令和 4 年 9 月 30 日 (金)  
株式会社有明ねっこむ

## ■第35回 放送番組審議会

1. 開催日時 令和4年9月30日(金)17時～

2. 開催場所 株式会社有明ねっこむ 1階会議室

3. 出席者 委員長: 石丸 智士  
副委員長: 香山 真理子  
委員: 城戸 久信、松崎 義和、大石 教義、黒木 雄平  
(計6名)

放送局側: 代表取締役専務 納富 和由紀、FMたんと局長 永江 美穂、原 沙也加(番組審議会事務局)  
(計3名)

4. 議題 審議番組: 『岱志高校青春 EATS(イーツ)』  
(提供/荒尾市)  
・8月18日(木)放送分

『Meiko Girl's Radio』  
(提供/明光学園同窓会・聖マリア学院大学)  
・9月1日(木)放送分

『有高生のアリ☆ラジ』  
(提供/荒尾市)  
・7月14日(木)放送分

『やなラジ@〇〇運んできました!!』  
(提供/柳川高等学校同窓会)  
・7月27日(水)放送分

## 5. 議事の内容

- 議題の番組について放送局側から概要を説明した。

【放送局】はじめに毎月第3木曜日、午後7時から15分放送の「岱志高校青春 EATS(イーツ)」提供は、荒尾市。

毎月テーマとパーソナリティが変わり、今回のテーマは「サバイバルゲーム」。

生徒たち自ら取材を行い、全体的にパーソナリティのざっくばらんなトークで進行していく。

生徒たちの学校生活が伝わる楽しい番組になっている。

次は毎月第1木曜日、午後7時から15分放送の「Meiko Girl's Radio」提供は、明光学園同窓会・聖マリア学院大学。

筑後地区唯一の女子校で、英語MCと日本語MCで進行するという、英語に力を入れている学校だからこそできる企画番組になっている。

リスニング感覚で聴くことができ、なかでも洋楽の聞き取りコーナーは高校生だけでなく、中学生も出演する。

リスニングコーナーの他、放送部による朗読等、色んなコンテンツを上手に使ったラジオ放送らしい構成の番組になっている。

続いて毎月第1木曜日の午後7時から15分放送の「有高生のアリ☆ラジ」提供は、荒尾市。

女子生徒二人の、休み時間トークのような進行で、企画は毎回変わる。

ゲストを招いたり、女子生徒ならではの目線の企画が多く、「どこの国の言語でしょうコーナー」は、楽しみながら色々な国の言語を知ることができる。

最後は毎月第4水曜日の午後7時から15分放送の「やなラジ@〇〇運んできました!!」提供は、柳川高等学校同窓会。

今回は、応援団経験者の生徒と生徒会メンバーで体育祭の思い出を深掘りしながら話をしている。

また、グローバルキャンパスを目指す柳川高校ならではの学科である国際科の生徒が、学校生活を楽しいトークで紹介している。

- 実際の音源を聴き、以下のとおり、各委員からの審議番組に関する意見と放送局側からの発言があった。

【 委 員 】それぞれの学校の特徴が出ていてよかった。

【 委 員 】4校とも若々しくて、元気で楽しめる番組だと思った。  
企画は各学校とも良かった。

【 放 送 局 】生徒たちの伝えたいことが沢山あり、15分で編集した時、間を詰めすぎて早口に聞こえてしまう。

【 委 員 】放送内容は、フレッシュで良かったが、放送時間帯が気になる。  
19時台は塾や部活終わりの生徒が多いため、22時の時間帯の方が聞いてくれる年齢層が若いのではないか。

【 放 送 局 】最初の2校のラジオ放送枠を提案させて頂いた時、19時までの生放送後、続けて放送すると一番聴いていただけそうだという事から19時台をおすすめした。  
現在19時という時間帯が定着してきているため別の時間帯への移動は難しいが、高校生など若い層に聴いてもらえる様、深夜22時や土日に再放送する事も検討したいと思う。

【 委 員 】滑舌がすごく良いのに、早口で聞き取れない部分があった。  
全体的に女の子は話し方が上手で、男の子は棒読み部分があった。  
有明高校と柳川高校は高校生らしい放送だと感じ、岱志高校は話が上手かった。  
15分は番組枠として短いのか長いのか。  
30分に増やすことはできないのか。

【 放 送 局 】女子生徒が原稿を作成することが多く、女子生徒は自分が作成した原稿なので流暢に話すことができるが、男子生徒は、原稿を一生懸命読んだら棒読みになってしまうことが多い。  
15分は、番組枠の最短枠だが、生徒の部活や勉強の中、

生徒自身で企画編集、取材まで行っている為、15分程度が限界。

【委員】速さについていけない部分が少しあった。

荒尾市が岱志高校と有明高校を提供していて素晴らしいと感じた。

【放送局】最初は1校が荒尾市に提供を相談したのだが、荒尾にある2つの高校とも年々学校の生徒数が少なくなっていることから、2校の放送を荒尾市が提供することになった。

【委員】聴いている世代の対象を考えると、放送時間帯を変えた方がいいのではないかと感じる。

何時にどういう世代が聴いているのか把握できるのか。

【放送局】どういう世代が聴いているかは把握できない。

生徒たちが出演することによって、出演する生徒の親御さん、友人等がラジオを聴くことを考え、そこで新しいリスナーが増えると思う、時間帯は今後考えたい。

## 6. 次回の会議 令和4年11月(日時は未定)

## 7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和4年10月31日掲載)